

2018年12月17日
日本生命保険相互会社

英国での洋上風力発電プロジェクトへの融資について

日本生命保険相互会社（社長：清水博、以下「当社」）は、英国イングランド地方で洋上風力発電プロジェクト（以下「当プロジェクト」）を運営する Firebolt RB Holdings Limited（以下「ファイアボルト社」）に対し、200 百万英ポンド（約 286 億円）のシンジケートローン（以下「当融資」）を実行しました。なお、当社はシンジケートローンの組成段階から参加します。

当プロジェクトは、英国イングランド地方ノーフォーク州沖合において、発電容量 573.3MW の大型洋上風力発電施設を運営するもので、ファイアボルト社がデンマークの大手電力会社であるアーステッド社のグループ会社と共同で実施します。英国では 2020 年までに発電電力量に占める再生可能エネルギーの割合を 31%とする目標を掲げており、当プロジェクトは、その目標達成に向けて大きな役割を果たすものです。

当融資は、2018 年 2 月に竣工した洋上風力発電施設の安定運営のための資金を提供するものであり、長期間にわたって魅力的な利回りの獲得が期待できます。また、国内生命保険会社によるプロジェクトファイナンスの取組として最大級の規模となります。

当社は中期経営計画「全・進-next stage-」（2017-2020）において、4 年間で成長・新規領域へ 2 兆円、ESG 債等へ 7,000 億円の投融資を目標としており、英国における再生可能エネルギーの活用拡大を支える当融資も、その一つと位置付けています。

今後も、社会公共性・投資採算性をふまえ、成長・新規領域および ESG 投融資を強化することで、ご契約者利益の一層の拡大に努めるとともに、持続可能な社会の形成に寄与してまいります。

<案件概要>

企業名	ファイアボルト社 出資企業：Macquarie Infrastructure and Real Assets Europe Limited：50% 住友商事株式会社：25% Investment advised by Arjun Infrastructure Partners Limited：12.5% Funds advised by Gravis Capital Management Limited：12.5%
調印日	2018年12月12日
当社融資額	200百万英ポンド（約286億円）

<施設概要>

所在地	英国イングランド地方ノーフォーク州沖合 27km
発電会社	Race Bank Offshore Windfarm
主要施設	風車タービン（6.3MW×91基）、変電設備、ケーブル等
発電容量	573.3MW
竣工	2018年2月

<日本生命の取組とSDGsとの関係>

2015年9月に国連総会で、持続可能な発展のために世界が共有して取組む17の目標と169のターゲットからなる「持続可能な開発目標（SDGs）」が採択されました。国連に加盟するすべての国は、全会一致で採択したアジェンダをもとに、2015年から2030年までに、貧困や飢餓、エネルギー、気候変動、平和的社会等、持続可能な開発のための諸目標を達成すべく力を尽くすことが求められ、SDGs達成に向けた企業の役割も期待されています。

当社グループは、これまでもSDGsと関連するさまざまな商品・サービスの開発・提供、資産運用等に取組んでいます。今後も、グローバル社会からの要請も視野に、事業活動を通じて社会的課題の解決に貢献していきます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



< 今回の案件と関係の深い SDGs 目標 >

目標7：エネルギーをみんなにそしてクリーンに

すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する

(例)

- ・世界のエネルギーミックスにおける再生可能エネルギーの割合を拡大させる。
- ・クリーンエネルギーの研究および技術へのアクセスを促進するための国際協力を強化し、エネルギー関連インフラ等への投資を促進する。



目標13：気候変動に具体的な対策を

気候変動およびその影響を軽減するための緊急対策を講じる

(例)

- ・気候変動対策を国別の政策、戦略および計画に盛り込む。



以上